

令和5年度事業報告

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

概況

我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、令和5年5月8日をもって5類感染症に位置付けされたことにより、経済活動の制約が緩和され、消費や投資が回復傾向となった。さらに30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する流れを迎えた。

他方、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追いついていない現状であり、個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠いている。これを放置すれば、再びデフレに戻るリスクがあり、また、潜在成長率が0%台の低い水準で推移しているという課題もある。

令和6年1月に発生した能登半島地震による深刻な被害が、被災地域の経済活動を下押しし、生産・事業活動の停滞や、持ち直しに時間を要すると思われるが、復旧に向けた動きもみられており、観光需要の減少は避けられないものの低迷の長期化は避けられる見込みである。

今後、日本経済が持続的な成長と安定を取り戻すためには、政府、日銀、企業、市民などの全ての関係者が、協力して取り組む必要があります。

事業並びに会議等の実施内容は以下のとおりである。

I. 税を巡る諸環境の整備改善等を図るための事業<継続1>

1. 税制提言活動事業

◇提言作成に向けたアンケート調査の実施

「今後の望ましい税制のあり方」をテーマとした税制改正に関するアンケート調査を、県下単位会の役員及び会員を対象に実施した。

◇令和6年度税制改正要望書のとりまとめ

全法連は、令和6年度税制改正提言を策定するに当たっては、「財政健全化や社会保障制度のあり方」など基本的課題への対応や活力ある日本経済を目指して、「経済活性化と中小企業対策」を中心に法人会としての考え方を取りまとめることとし、県連は、これに基づき単位会から提出された要望事項を分類、整理し、県連税制委員会において検討を行い、県連としての要望事項を取りまとめ全法連に提出した。

◇税制改正に関する提言活動の実施

全法連は全国の県連より提出された要望事項を取りまとめ理事会で決議し、10月18日開催の「法人会全国大会（群馬大会）」において提言趣旨説明を行った。

全法連は政府・政党・関係行政省庁に行財政改革の徹底や税制の見直しを要望し、高知県連では地元選出の国会議員、高知県知事及び高知県議会議長に対して要望活動を行った。

《地方自治体に対する要望活動の実施状況》

要望活動先				要望活動実施者			実施日
対 象		面接者		所属会	役 職	氏 名	
自治体名	役職	役職	氏 名				
高知県	知事	副知事	井上 浩之	県 連	会長 税制委員長 常務理事	山元 文明	11月8日
	議長	議長	弘田 兼一			山崎 一寛 公文 隆司	11月8日
高知市	市長	市長	岡崎 誠也	高 知	会長 税制委員長 常務理事	山元 文明	11月8日
	議長	議長	平田 文彦			山崎 一寛 公文 隆司	11月21日
土佐市	市長	市長	板原 啓文	伊 野	会長	森澤 正博	11月21日
	議長	副議長	中田 勝利				
四万十市	市長	市長	中平 正宏	幡 多	会長 税制委員長	福田 充 坂井 義延	12月5日
	議長	議長	平野 正				
須崎市	市長	市長	楠瀬 耕作	須 崎	会長代行 税制委員長	田部 義弘 国澤 隆英	11月20日
	議長	議長	西村 泰一				
南国市	市長	市長	平山 耕三	南 国	会長 税制委員長 税制委員	楠目 隆 西野 精晃 竹中 利文	11月27日
	議長	議長	岩松 永治				
安芸市	市長	市長	横山 幾夫	安 芸	会長 税制委員長 顧問	籠尾 信之 坂本 泰資 石建 国元	11月17日
	議長	議長	徳久 研二				

◇全法連税制セミナーへの参加

令和6年2月14日に開催された税制セミナーに、税制委員会希望者及び事務局がリモートで参加した。

◇法人会全国大会への参加（提言内容の発表）

令和5年10月18日開催の「法人会全国大会（群馬大会）」に、県下6単位会から19名が参加した。

2. 租税教育事業

次世代を担う児童生徒に税の仕組み等を理解してもらうため、租税教育の充実に努め、また、これに資するための租税教育教材も全法連と連携して配布した。

◇租税教室の開催

《単位会取組状況》

	高 知	伊 野	幡 多	須 崎	南 国	安 芸	合計
学校数	40	7	20	12	10	18	107
授業数	98	8	28	14	15	19	182
児童生徒数	2,868	204	588	288	484	275	4,707

《開催校一覧》

	開催校
高知	高須小、旭東小、朝倉第二小、第六小、附属小、横内小、一宮東小、朝倉小、昭和小、五台山小、小高坂小、潮江南小、一宮小、神田小、潮江東小、長浜小、春野東小、春野西小、介良小、鏡小、江の口小、秦小、十津小、土佐山学舎（小）、初月小、第四小、横浜新町小、泉野小、浦戸小、江陽小、鴨田小、高知小、高知県立日高特別支援学校 高知しんほんまち分校、高知中、附属中、土佐山学舎（中）、高知国際中、春野中、愛宕中、城東中
伊野	高岡第一小・宇佐小・高石小・伊野南小・枝川小・川内小・日下小
幡多	清水小・竹島小・南郷小・具同小・佐賀小・中村小・山奈小・下田小・西土佐小・三原小・大島小・三浦小・上川口小・橋上小・中村中・小筑紫中・片島中・中村西中・大用中・西土佐中
須崎	多ノ郷小、東又小、窪川小、新莊小、須崎小、上ノ加江小、久礼小、葉山小、斗賀野小、佐川小、越知小、梶原高
南国	大篠小・長岡小・後免野田小・日章小・野市小・佐古小・赤岡小・山田小・舟入小・本山小
安芸	甲浦小・佐喜浜小・室戸小・吉良川小・羽根小・奈半利小・北川小・田野小・安田小・馬路小・魚梁瀬小・伊尾木小・川北小・土居小・安芸第一小・井ノ口小・穴内小・芸西小

◇「税に関する絵はがきコンクール」

《単位会取組状況》

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
応募校	15校	7校	21校	17校	7校	9校	76校
応募数	768枚	206枚	322枚	162枚	231枚	176枚	1,865枚

令和5年10月27日に絵はがきコンクール選考会を開催した。

高知県代表作品は、須崎法人会選出作品となり、四法連会長賞を受賞した。

各単位会代表作品は、「全国女性フォーラム広島大会（令和6年4月18日）」へ展示する。

◇全国女性フォーラム

全国女性フォーラム愛媛大会（令和5年4月13日）へ県下女性部会から22名が参加し、大会では令和4年度作品の県下各単位会代表作品が展示された。

◇全国青年の集い

全国青年の集い山形大会（令和5年11月9・10日）へ県下青年部会から25名が参加し、大会では全国11局連代表の「租税教育活動プレゼンテーション」が行われ、厳正な審査の上、最優秀賞等を選定した。また、国の社会保障制度や財政が抱える問題を解決するため青年部会が取り組んでいる健康経営については、「健康経営大賞2023 in 山形」と題し、単位会部門及び企業部門に分けファイナリスト選定者による事例発表が行われ、厳正な審査の上、最優秀賞等が選定された。

3. 税の広報事業

税の取り巻く環境変化に対応すべく「国税・地方税の電子申告納税制度の普及」や「消費税の期限内納付」「キャッシュレス納付」をはじめ、税務知識の普及と納税意識の高揚を目的にマスメディア及び「広報看板」を通して広く一般市民に啓発活動を行った。

- ◇「税の期限内納付」など納税意識の高揚、税知識の普及に寄与するための資料配布及び広報
- ◇「税を考える週間」新聞等による広報
- ◇納税者の利便性と申告事務の合理化を図るため、e-Tax 及び eLTAX、ダイレクト納付の普及推進
- ◇「2023 よさこい鳴子踊り特別演舞」協賛看板の設置
- ◇防犯ブザープレゼントキャンペーン
- ◇会報「ほうじん土佐」の発行（5,800部）
- ◇単位会広報誌発行助成
- ◇新年年賀広告

II. 地域の経済社会整備改善を図るための事業<継続2>

1. 経営支援事業

一般企業及び市民、会員に対する経理、法律、経営に関する研修会の開催支援を行った。

◇講演会の開催

《青年部会連絡協議会・女性部会連絡協議会 会員交流会議記念講演会》

開催日：令和5年7月24日

会場：三翠園

テーマ：「食品ロスを考える！ ～環境の未来は一人一人の行動から～」

講師：東京農業大学 副学長 上岡 美保 氏

◇研修会の開催

《電子帳簿保存法》

開催日：令和5年9月7日

会場：高知市勤労者交流館

講師：税理士法人アクティーフ 森本 倫光 氏

《経理セミナー》

開催日：令和5年9月25日～27日

会場：安芸商工会館、高知市立自由民権記念館

テーマ：「よくわかる経理の実務手ほどき講座 初級編・中級編」

講師：(株)プロモーターズカンパニー 中小企業診断士 石川アサ子 氏

《特定個人情報保護法》

開催日：令和5年12月19日

会場：ちより街テラス

講師：こうち中央社労士事務所 秋山 直也 氏

《令和5年度研修実施状況》

区分	税法税務 ※インターネットセミナー含		経営・経済・金融		その他 ※インターネットセミナー含		実施回数 小計	参加人員 小計	研修 参加率	税法税務 研修 参加率
	実施回数	参加人員	実施回数	参加人員	実施回数	参加人員				
高知	30	1,500	20	635	10	1,342	60	3,477	115.8%	50.0%
伊野	5	351	6	73	3	431	14	855	195.2%	80.1%
幡多	8	307	3	38	2	236	13	581	112.4%	59.4%
須崎	7	366	7	145	5	417	19	928	167.8%	66.2%
南国	11	427	0	0	4	420	15	847	163.5%	82.4%
安芸	9	339	5	39	1	260	15	638	239.8%	127.4%
県連	5	84	10	291	0	0	15	375		
合計	75	3,374	51	1,221	25	3,106	151	7,701	145.4%	63.7%

《研修参加率推移》

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	研修参加率	税務税法 研修参加率	研修参加率	税務税法 研修参加率	研修参加率	税務税法 研修参加率
高知	75.7%	38.5%	139.0%	74.2%	115.8%	50.0%
伊野	118.9%	56.2%	158.0%	63.0%	195.2%	80.1%
幡多	113.1%	67.4%	125.2%	80.1%	112.4%	59.4%
須崎	98.4%	46.9%	147.4%	92.4%	167.8%	66.2%
南国	93.8%	58.0%	129.5%	73.7%	160.1%	80.7%
安芸	151.3%	78.8%	220.7%	110.7%	239.8%	127.4%
合計	91.7%	48.8%	144.1%	78.3%	144.9%	63.7%

《全法連研修参加率向上表彰（令和4年度の実績による表彰）》

その年度において税法税務研修参加率が高い単位会に対する表彰（参加率120%以上あるいは上位40会、ただし参加率100%以上）

優秀賞 安芸法人会

《県連研修参加率表彰（令和4年度の実績による表彰）》

その年度において顕著な成績を挙げた単位会表彰

200%以上 安芸法人会

◇法人会インターネットセミナー

各単位会のホームページ上で配信されるセミナーで、その内容は、総務・経営・労務・健康等の多岐にわたり、経営者が知っておくべき多彩なセミナーと講師陣を揃え、社員教育にもご活用いただいている。

《令和5年度インターネットセミナーログイン状況》

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
ログイン数	2,520	865	634	819	1,024	797	6,659

2. 社会貢献事業

各単位会、関係諸団体とも連携をとり社会貢献活動の推進を支援した。

◇法人会クリーンデー

令和6年1月21日（須崎法人会は地区ごとに10/26・11/27・1/13・1/14・1/21・1/28に開催）に県下6単位会で開催した。

◇食品ロス削減への取組み

女性部会では、「持続可能な社会を支えるため、わたしたちに何ができるのか」を考え、「食品ロス」削減に取り組んでいます。その推進策として、広報誌掲載、各種会議終了後の親睦会で2010運動（宴会時の食品ロスを減らすためのキャンペーン）として、乾杯からの20分間とお開き前の10分間は自分の席で料理を楽しみ、食べ残しを減らそうという活動を行っている。

◇いちごプロジェクト

いちごプロジェクトとは、2011年夏の節電目標だった「15%」に由来しており、夏と冬に節電活動を行っております。女性部会では、チラシ配布、うちわの配布を行っている。

Ⅲ. 単位会の行う公益目的事業を実施するための助成事業の円滑な運営支援＜継続3＞

単位会が行う助成事業に関し、当該事業の運営が円滑に行われるよう申請・報告の取りまとめ、研修・指導等を行った。

Ⅳ. 貸倒保証制度の普及推進（案内・周知）＜他1＞

貸倒保証制度の推進【三井住友海上火災保険(株)】 令和5年度利用法人数 1社（高知）

Ⅴ. 会員組織の充実を図ること、会員支援のための親睦交流などに関する事業＜他2＞

1. 組織の拡充強化・充実

組織の維持拡大は法人会活動の基盤をなすものであり、コロナ禍の中とはいえ、可能な範囲内で加入勧奨活動を行った。

今年度も、各金融機関本部及び支店の多大なるご協力のもと、9月から12月を強化月間と定め、全法連の会員増強施策に加え、当会でも福利厚生制度協力会社推進員と金融機関の紹介につき商品券を配布する施策を打った。

令和6年3月31日現在の各単位会の会員数は次表のとおり。

《令和6年3月31日現在 会員数》

		高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
所管法人数		6,574	849	1,103	1,039	1,242	617	11,424
法人会員数		3,120	449	527	560	545	275	5,476
内 訳	正会員	2,796	409	511	546	523	270	5,055
	正会員以外の法人	324	40	16	14	22	5	421
加入率		47.5%	52.9%	47.8%	53.9%	43.9%	44.6%	47.9%
個人会員数		179	14	16	10	10	10	239

《全法連会員増強表彰（令和4年度の実績による表彰）》

その年度において顕著な成果を挙げた単位会に対する表彰（対前年1社以上）

努力賞 高知法人会、安芸法人会

2. 部会及び連絡協議会の活動

◇調査課所管法人部会

調査課所管法人部会においては、高松国税局の指導をいただき税務研修会を開催した。

《調査課所管法人部会税務研修会》

開催日：令和6年3月26日 場所：ザ クラウンパレス新阪急高知

①テーマ：「令和6年度税制改正について」

講師：高松国税局 調査査察部 調査管理課 主査 水野 正彦 氏

②テーマ：「インボイス制度について（導入後の留意事項）」

講師：高松国税局 調査査察部 調査管理課 調査官 山本 鮎美 氏

③テーマ：「電子帳簿保存法における電子データの取扱いについて」

講師：高松国税局 調査査察部 調査管理課 調査官 山本 鮎美 氏

◇連絡協議会

青年部会連絡協議会・女性部会連絡協議会においては、独自の企画に基づき、社会貢献活動、関係友好団体との交流など活発に展開し重要な役割を果たした。

《令和6年3月31日 青年・女性部会 部会員数》

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
青年部会	174名	41名	89名	70名	36名	39名	449名
女性部会	87名	32名	43名	76名	21名	20名	279名

3. 福利厚生制度推進事業

福利厚生制度を取り巻く環境は、経済状況の悪化、さらには会員企業の保険のニーズの多様化等により厳しい状況ではあるが、厚生制度の普及は会員の福利増進とともに法人会の財政基盤の安定に大きなメリットをもたらすものであり、厚生委員会と福利厚生制度推進協力会社と連携を密にして推進を図った。

◇福利厚生制度推進会議の開催

単位会の福利厚生事業の展開に際し、福利厚生制度推進協力会社3社と連携をとり、推進を図るため目標達成に向けての会議を開催した。

◇全法連福利厚生制度推進表彰（令和4年度の実績による表彰）

（1）県連表彰

- ・ 顕著な成果を挙げた県連に対する表彰（累積収入保険料 対前年 101%以上）
大同生命保険(株)取扱分
- ・ 高成績を長期間維持している県連に対する表彰（累積収入保険料 対前年 100%以上を3年間継続して維持）
- ・ 大型総合保障制度の役員加入率が高い県連に対する表彰（加入率 70%以上）

（2）単位会表彰

- ・ 顕著な成果を挙げた単位会に対する表彰（累積収入保険料 対前年 103%以上）
伊野法人会、幡多法人会、南国法人会、安芸法人会

◇福利厚生制度推進状況

《経営者大型保障制度【大同生命保険(株)】》

（令和6年3月31日）

単位会	会員数	加入企業数	加入率	役員		
				企業数	加入企業数	加入率
高知	3,120	661	21.2%	47	41	87.2%
伊野	449	102	22.7%	38	29	76.3%
幡多	527	150	28.5%	38	31	81.6%
須崎	560	126	22.5%	34	27	79.4%
南国	545	157	28.8%	36	29	80.6%
安芸	275	68	24.7%	24	21	87.5%
合計	5,476	1,264	23.1%	217	178	82.0%

※役員加入率については、加入不可能企業による修正後の加入率となります。

《ビジネスガード【AIG損害保険(株)】》

(令和6年3月31日)

単位会	会員数	加入企業数	加入率	新規企業		
				目標	実績	達成率
高知	3,120	690	22.1%	65	63	96.9%
伊野	449	79	17.6%	6	3	50.0%
幡多	527	87	16.5%	9	9	100.0%
須崎	560	80	14.3%	7	6	85.7%
南国	545	98	18.0%	12	6	50.0%
安芸	275	71	25.8%	5	2	40.0%
合計	5,476	1,105	20.2%	104	89	85.6%

《がん・医療・その他保険制度【アフラック生命保険(株)】》

(令和5年12月31日)

単位会	会員数	目標年間換算 保険料(千円)	実績年間換算 保険料(千円)	達成率	加入 企業数	加入率
高知	3,003	15,895千円	12,953千円	81.5%	600	20.0%
伊野	438	2,159千円	1,798千円	83.3%	90	20.5%
幡多	517	2,517千円	949千円	37.7%	84	16.2%
須崎	553	4,923千円	1,344千円	27.3%	117	21.2%
南国	518	4,245千円	3,400千円	80.1%	116	22.4%
安芸	266	4,383千円	2,819千円	64.3%	59	22.2%
合計	5,295	34,122千円	23,263千円	68.2%	1,066	20.1%

※会員数は令和5年12月31日時点

◇医療機関と提携による人間ドックの斡旋

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	高知	伊野	幡多	須崎	南国	安芸	合計
利用件数	34	9	9	7	18	5	82

◇「第4回チャリティゴルフフェスタ」の開催

本事業は、令和2年度から開催している厚生委員会主催のチャリティゴルフ大会で、参加者同士の親睦を深め、収益金を社会貢献活動に役立てる目的で企画した。令和5年9月28日に錦山カントリークラブにて開催し、参加者は215名。収益金215,000円は、令和5年10月12日に「高知新聞厚生文化事業団」に寄付した。

VI. 出会い・結婚・子育て応援窓口運營業務等委託事業の受託<他4>

「結婚、妊娠、出産」は個人の自由であることを大前提に、支援を望む方の希望をより早くかなえることができるよう、「こうち出会いサポートセンター」(以下「センター」という。)において、出会いや結婚への支援を希望する独身者に対する「出会いの機会の創出」を行う。

併せて、妊娠、出産や子育てに関する相談にワンストップで情報提供を行うことにより、ライフステージの各段階に応じた切れ目のない支援を行った。

また、官民協働で「働きながら子育てしやすい職場環境づくり」の取組みを推進するため、県内企業・団体等に「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」(以下「応援団」という。)への登録促進等の働きかけを行った。

なお、事業実施にあたりセンター長1名、職員3名、パート5名を雇用している。

1. 出会い・結婚・子育て応援窓口運營業務

(1) 出会いイベントに関する業務

ア. 応援団の登録拡大・支援の充実

	令和5年度	令和4年度
イベント数	71回	52回
イベント参加者数	1,217人	974人
カップル数	148組	106組
成婚数	0組	3組

イ. 応援団へイベントアドバイザー、イベントファシリテーターの派遣 応援団にイベントの企画支援等を行う専門家を派遣した。

- ・アドバイザー・ファシリテーター派遣 29回
- ・イベントアドバイザー・ファシリテーター連絡会 1回

ウ. 応援団研修の開催

開催日：令和6年2月20日 場 所：ちより街テラス
参加者：20名

エ. 「高知で恋しよ！！応援サイト」のメルマガ会員を募集、登録とメルマガ配信

- ・メルマガ会員数 5,223名
- ・メルマガ配信 306回

オ. イベント終了後のお引合せ・交際フォロー

- ・活動実績 59回 148組

カ. 異業種交流会の開催

開催日：令和5年11月23日 場 所：高知県立県民体育館&高知大丸
参加者：40名（男性24名 女性16名）
主催者：高知県少子化対策推進県民会議若い世代部会（ゆるスポーツ&BBQコン）

キ. 社会人交流事業の開催

開催期間：令和5年9月24日～令和6年1月26日
開催回数：10回
総参加者数：313名（男性129名 女性184名）
委託先：株式会社高知広告センター

ク. 社会人交流事業と併せたライフプランセミナーの実施

開催期間：令和5年9月24日～令和6年1月26日

開催回数：10回 総参加者数：291名

(2) マッチングシステム（会員同士による1対1のお引合せ）に関する業務

	令和5年度	令和4年度
お引合せ成立数	342組	330組
(内オンライン)	(17組)	(23組)
カップル数	124組	151組
(内オンライン)	(4組)	(2組)
成婚数※	16組	22組

※センター開設時からの成婚数は117組

ア. マッチング会員募集等

- ・巡回広報活動 27回 73カ所
- ・出張登録推進活動 11回 11カ所
- ・香南ケーブルテレビのセンターPR放送1回、高知新聞で半額キャンペーン掲載1回、令和5年11月～12月と令和6年2月に半額キャンペーンのSNS広告

イ. 会員の登録

	会員数	性別	
		男性	女性
令和6年3月31日現在	700	478	222
令和5年3月31日現在	743	464	279

ウ. 会員登録・閲覧の窓口設置

- ・高知センター、安芸センター、四万十センター、県下出張先にて設置
- ・ヘアメイク、写真撮影付登録会 12回

エ. 閲覧・申込み体制の整備

	閲覧数	性別	
		男性	女性
令和6年3月31日現在	1,523	1,357	166
令和5年3月31日現在	1,496	1,264	234

オ. 個別のお引合せ・交際フォロー

- ・活動実績 339回

カ. 出張登録閲覧会及びヘアメイク・写真撮影付きスペシャル登録会の実施

- ・企業及び県下市町村における出張登録閲覧会 35回(登録者数46名、閲覧者数22名、ヘアメイク写真撮影のみ24名)

キ. 会員限定イベントの実施

- ・会員限定イベント 11回（参加者数 77名）

(3) 「高知で恋しよ！！応援サイト」の運営管理

ア. 「高知で恋しよ！！イベント」システム等の運営管理

サイトやメールマガジンにおいて出会いイベント情報を発信し、イベントの登録及びイベント参加者の受付などシステム上でイベントの管理運営等を行う。

イ. 「高知で恋しよ！！マッチング」システム等の運営管理

マッチングの会員情報をシステム上で管理し、データベース化して、閲覧窓口において専用端末機を用いて会員情報の閲覧を行う。

ウ. 応援団等の運営管理

応援団や独身者を支援するボランティアの情報を管理し、システム上で情報交換を図る。

エ. その他ブログ等SNSを活用し、事業に必要な情報発信を行う。

- ・インスタグラム投稿回数 50回

(4) 相談に関する業務

センター内に応援コーナーを設置し、独身者等からの電話やメール、来所等による相談対応や情報提供などを行った。また、必要に応じて、高知県庁児童家庭課内の子育て相談担当とも連携し、情報交換を行った。

ア. 応援コーナーの運営

- ・相談件数

出会い・結婚 203件、妊娠・出産 0件、子育て 0件、就労 0件

イ. センター見学会の実施

- ・県の結婚支援事業の概要説明を行うセンター見学会 8回

(5) 独身者を支援するボランティア（マッチングサポーター）の養成や活動支援

ア. マッチングサポーターの養成及び活動支援

- ・養成研修 10回 12名

- ・活動支援（スキルアップ研修 4回 58名）

- ・相談件数 92件

[内訳：活動相談 75件、操作方法 5件、資料請求 0件、成婚報告 8件、その他 4件]

- ・マッチングサポーター登録者数 88名（男性 28名 女性 60名）

(6) 「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」の登録拡大・支援の充実

ア. イベントを主催する応援団を募集し、多くの出会いの機会を提供できるようイベント開催を支援した。[応援団支援 12回、応援団研修 1回 20名]

イ. お引合せの会場等の提供を行う応援団を募集し、独身者へのサービスの提供や支援を行った。[お引合せ会場提供団体 68団体]

(7) その他、業務を遂行するために必要なこと

ア. 結婚相談アドバイザー等の配置

相談会付スペシャル登録会 3回

イ. センター及び応援コーナー等スタッフの育成・指導 [6回]

7月5日	Excel 基礎講座	2名
7月6日	Excel 応用講座	1名
9月4日	心を開く3つのワークで面談力UP!!あなたのポジティブスイッチはどこですか?	8名
12月15日	個人情報の保護について	8名
1月16日	小さな地域に暮らす若者への大きな支援	4名
2月22日	「消費型婚活」から「投資型婚活」へ未来に繋がる伴走型おせっかい	8名

2. 企業等の子育て支援への参画促進業務

応援団への登録促進及び宣言賛同企業数の増加に向けた勧誘を行いました。

(1) 応援団への登録促進

登録団体	1,369
令和5年度登録団体	68
延べ訪問団対数	1,229
実訪問団対数	723

(2) 宣言賛同企業数の増加に向けた勧誘

・宣言賛同企業数 1,004団体

VII. 総務関係及び事務局体制の整備

1. 事務運営体制の確立

全法連からの事務局強化支援助成金を活用し、県連で社会保険労務士と顧問契約をした。各単体会の法人会運営業務を行うため、個人情報や電子帳簿保存法等の研修会を行った。

また、依頼のあった単体会には県連の職員を派遣し、総会のサポート等を行った。

2. 各種会議の開催

定時総会をはじめ、円滑な運営を図るための各種会議を開催した。

3. その他

能登半島地震における被災法人会支援として、義援金 200,000 円を（公財）全国法人会総連合へ送金した。